

活動名 カンナがつなぐ平和のバトン ―カンナプロジェクト	団体名	広島市立大州小学校 カンナプロジェクト
	地域	広島県広島市
	代表者	教頭 増田 紀美
	支援金額	20万円
活動概要		
<p>被爆後75年間は草木も生えないだろうといわれた広島に、わずか一ヶ月後に咲いたといわれるカンナの花を、自分たちの町に植えることを通して、平和について考え、行動する。</p> <p>①大州小学校からマツダスタジアムまでの道沿いにカンナの花を植え、「カンナロード」を作り、世話をする。 ②カンナの球根を育て、増やしていく。</p> <p>平和集会・参観日・平和マラソン・歌などを通して、この活動を広める。</p> <p>◆実施時期 平成26月～3年計画 場所:大州小学校・大州街道・マツダスタジアム</p> <p>◆参加人数 ①48名 ②56名 ③約300名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:404名</p>		



被爆体験を聞く会
地域にお住まいの被爆体験者の方のお話を聞きました。



カンナロードプロジェクト(2年次)
立て看板の俳句を張り替えました。



カンナロードプロジェクト(2年次)
ご協力いただいている方々に引継ぎのご挨拶をし、手紙を渡しました。



平和マラソンへの参加 6年生と保護者・教職員で
カンナTシャツを着て平和マラソン5kmの部に出場しました。

◆実施に伴う効果

- ・児童が、「自分たちにできる平和への活動」として取り組むことができた。
- ・大州小学校の伝統として、先輩から引き継いだものを継続し、広げることができた。
- ・地域の方に、カンナの花のことや、子どもたちの取り組みを理解して頂き、たくさんの協力を得ることができた。

◆苦勞した点

- ・活動の予定を組むことが難しかった。
- ・屋外での活動のため、雨の中での取り組みをしたこともあった。
- ・来年度の予算
- ・枯れた状態のときの手入れ
- ・プロジェクトに賛同してくださる方を新規に増やすことがなかなかできなかった。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・来年度(3年次)も各場所の花は新6年生が育て、新しい俳句を考える。
- ・カンナの株をたくさん育て、地域の方に送り、育ててもらおう。

◆活動を終えての感想・意見等

カンナロードプロジェクトとして2年目を迎えた今年度も、継続してマツダ財団からのご支援をいただくことができました。それにより、大州学区にお住まいの被爆体験者の方からお話を聞き、原爆をより身近なものとして感じることができました。また、カンナロードプロジェクトでご協力いただいている地域の方々と接することで、自分たちの活動が地域に発信されていることを肌で感じることができました。子ども達がこれまでに平和学習で学んで来たことを、具体的な活動を通して発信していくよい機会となりました。この経験を生かし、今後も、平和について自分の考えを持ち、行動していくことのできる人になって欲しいと思います。